



足立区議会議員

生まれて安心 暮らして安全 歩いて楽しい 足立区に。

長谷川たかこ

www.takahase.com
区議会レポート

1973年3月16日生まれ。中央大学法学部卒。衆議院議員 岩國哲人元秘書
家族:夫・娘2人、青山学院大学大学院法学研究科在籍中。
現在、足立区議会議員、産業環境委員会委員、少子化対策調査特別委員会委員、
足立区議会民主党 副政調会長をつとめる。

[本号の主な内容]

2008年の抱負と決意 / 第4回定例会・代表質問の内容 / 昨年の活動履歴

2008年の 抱負と決意

「子供たちが将来誇れる足立区にしたい」

そう思い、政治活動を始めたのが、2006年10月。

以来、多くの方に支えられながら、今日まで走ってきました。

そして、駅頭で演説中に声をかけていただいた皆さん、

お電話やハガキをくださった皆さん、

ホームページをご覧になっていただいた皆さん、

そのほか、私を支えてくださった多くの皆様と、今も一緒に走っています。

私は足立区民の皆さんとの声を尊重しながら、「区民の皆さんと同じ目線」、

「皆さんと一緒に政治活動をする」ことをこれからも続けていきます。

当初、私は党の公認をいただきましたが、

何もない、まさにゼロからの出発でした。

おかげさまで皆さんの応援に恵まれ、

一人ひとりの力が合わさることで、

とても大きな力になることを

痛切に実感しました。

皆様から頂いた任期4年を

足立区の発展のために、今後も全力でがんばります！

足立区民の皆さんが足立区を東京23区で一番暮らしやすい区にしたいという気持ちで行動すれば、

足立区は必ず変わっていきます。

明日の足立区、東京、日本を変える力を持っているのは、

有権者である皆さんです。

ぜひ皆さんには、その大切な権利行使していただき、
政治に参加をしていただきたいと思います。

子供たちの未来のために、
一緒に足立区を変えていきましょう。

足立区議会議員 長谷川たかこ



昨年の活動履歴 (抜粋)

4月22日 足立区議選 7,839票で初当選

5月18日 繁張の初登台、任期4年のスタート

産業環境委員会・少子化対策調査特別委員会に所属

6月28日 第2回足立区議会定例会

7月26日 第26回 足立花火大会に参加

8月3日 区議会民主党 高松、岡山、松江視察

8月4日 足立区 第5回灯篭流しと音楽会に出席

9月10日 予算要望

党提出の予算要望の中に私のマニフェストに沿った32項目を盛り込む

9月20日 第3回足立区議会定例会

10月1日 足立区功労者表彰式に出席

10月14日 あだち区民祭り A-Festa2007に参加

10月20日 足立3Rフェアー2007に参加

10月20日 足立区内消防団合同点検に出席

10月21日 綾瀬町会運動会に参加

11月30日 足立区 光の祭典2007に出席

12月3日 第4回足立区議会定例会

12月4日 本会議2日目 区長・行政に対する初めての代表質問

12月12日 足立区議会民主党ゴミ清掃工場と中間処理施設視察

12月22日 イルミネーション サンアヤセ 点灯式に出席

12月26日 世田谷区役所へカラーバリアフリーの取り組みを視察



この区議会レポートは、NPO法人カラーユニバーサルデザイン機構*のアドバイスのもと、色覚の個人差を問わずご覧いただけるようカラーユニバーサルデザインに配慮して作成しました。

*カラーユニバーサルデザイン機構(CUDO)とは、色覚バリアフリー/カラーユニバーサルデザインへの配慮を啓発する活動を行うことを目的に2004年に設立されたNPO法人です。

昨年、次の提案をいたしました。

12月には代表質問に立たせていただき、4月に皆さんとお約束したマニフェストの実現に向けて、次の提案をいたしました。



1 誰もが安心して暮らせる街づくり

カラーユニバーサルデザインの導入 (カラーバリアフリー)

現在、統計では日本人の男性の20人に1人、女性の500人に1人の方に色の区別がつきにくいなどの遺伝による色覚障害があり、日常のさまざまな場面で不便を感じています。また、先天的なものではなく、ご高齢者が白内障などの疾患により、色の判別が困難になることもあります。目の不自由な方、体の不自由な方のために、点字ブロックやスロープの設置など、いわゆるバリアフリーと呼ばれる対策がとられているのと同様に、日本全国で300万人以上、足立区でも1万7千人以上いると推計される色覚障害の方のためにも、色使いに配慮した「カラーユニバーサルデザイン(カラーバリアフリー)の導入」が必要と考えます。

まずは、区役所などの公共施設や、ハザードマップ・広報などの区の印刷物、小学校などの教育現場において、色覚障害に対する正しい認識を持ち、色使いに配慮することが必要です。質問の中では、それぞれの場面における具体的な事例を挙げ、足立区をカラー・バリアーフリーの先進区にするための提案を行いました。

2 ゴミ問題の解決は、まず減らすことから

ゴミの3R運動の推進と廃プラスチックのリサイクル

都では現在、廃プラスチックを可燃ごみとして回収・焼却し、その熱を利用したサーマルリサイクルが進められ、千住地区など一部地域で試験運用が始まっています。

しかし、分別回収にコストや手間がかかるという理由から、安易に可燃ゴミとして焼却処分するのではなく、ゴミ問題の基本であるゴミを減らす(リデュース)、再利用する(リユース)、再処理する(リサイクル)の3Rの基本に立ち戻ることが重要です。

子どもたちに将来、安心して暮らせる豊かな環境を残すためにも、まずはゴミを減らす対策を行い、プラスチックリサイクルマークのあるものに関しては、分別回収・再資源化の再検討を求めました。

4 子どもを望むご夫婦を応援

区独自で不妊治療助成を

現在、子どもを望むご夫婦のおよそ1割が不妊症で悩んでいるといわれます。しかし、不妊治療は治療費が高額だけでなく、治療に時間もかかるなど、経済的にも精神的にも大きな負担となるために諦めるご夫婦もたくさんいます。

都は体外受精などの特定不妊治療への助成を始めましたが、初期の一般不妊治療に対する助成も必要であり、対象を一般不妊治療まで拡大して足立区独自の助成制度の導入を求めました。

3 区役所は「区」民の皆さんのお「役」に立つ「所」

夜間・休日窓口の拡充

千住区民事務所では平日19時まで、本庁では毎月第4日曜日に窓口サービスを行っていますが、区民の皆さんの利便性を考えると十分であるとは言えません。

例えば、住所変更の届出期限は14日以内ですが、タイミングによっては休日開庁に重ならないことになります。

各種届出の期限に合わせ日曜開庁を月2度以上にすることや、他の施設での窓口サービスの拡充など、利便性を優先した改善を求めました。

5 いまある公園をもっと魅力的に

目的別化と地域密着の公園

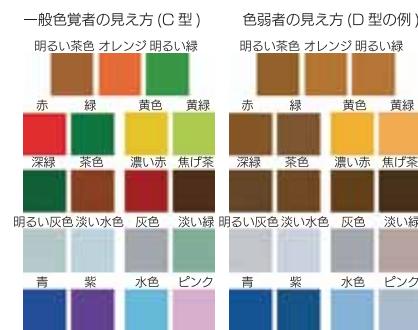
区内の公園は数・面積ともに23区中トップクラス。しかし、十分に活用されていないのが現状です。そこで公園の目的別化をすすめ、ドックラン、フットサル場、球技などが出来る公園など、具体的な例を挙げ、対策を求めてきました。

また、地域に密着した安全な公園づくりの観点から、遊具の故障など公園の異常について、いつでも担当に連絡できるよう、全ての公園への電話番号の表示を提案しました。

従来の学童保育を拡充させた「放課後こども教室」が、全小学校区での実施に向け、現在5校で実施されています。

放課後子ども教室は、子どもの安全で健全な育成だけではなく、少子化対策、女性の社会進出、また退職された先生方の経験を活かす場としても、大きな役割を果たします。

区内72校ある全ての小学校での、放課後子ども教室の速やかな実施を求めてきました。



これはあくまでもシミュレーションであり、色覚障害のある方が実際に見ているものと正確に再現したものではありません。

(色覚障害の名称については、様々な議論がありますが、広く知られているということで今回使用いたしました。)